

チャペル週報

めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。

(フィリピの信徒への手紙2:4)



2010.10.18.~10.22 No.19
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

10月18日(月)	神 琴 ひかる(神4) 経 「人間を考える①」大 高 博 美(経済学部教授) 人 上 田 直 宏(関西学院教会牧師) 短大 聖書物語「お魚にのまれたヨナ」
10月19日(火)	神 関西学院上ヶ原ハピタット 文 嶺 重 淑(人間福祉学部宗教主事) 社 ベトナムの孤児院を訪れて 高 野 温 己(文4) 法 音楽チャペル バロックアンサンブル 商 海外での奉仕を学ぶ 上ヶ原ハピタット 国 上ヶ原ハピタットによるチャペル 教 富 江 英 俊(教育学部准教授) 総 客 野 尚 志(総合政策学部准教授)
10月20日(水)	神 鳴 瀬 雄(M2) 社 いのちを考える⑤ 中 野 康 人(社会学部教授) 法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師) 経 「人間を考える②」神 崎 高 明(経済学部教授) 商 山 口 隆 之(商学部教授) 人 能 勢 岳 史(神学部D1) 教 川 人 百合野(キ3)「ブライエスチャナinタイ」 理 「人間とは一体何だろう」小 林 昭 雄(名誉教授) 総 村 瀬 義 史(宗教主事)
10月21日(木)	神 岩 嵩 大 悟(M2) 文 木 原 桂 二(神学部D3) 社 人権を考えるチャペル 渡 邊 勉(社会学部教授) 法 木 村 仁(法学部教授) 国 English Chapel Eun Ja Lee(宣教師) 総 宮 川 雅 充(総合政策学部准教授) 短大 キリスト教教育週間「ひろげよう、つなげよう、平和への祈り -ネパール『平和を愛する子ども達の家』を紹介しながら」
10月22日(金)	院 徳 田 真 二(教務部キャンパス自立支援課長) 神 成 岡 宏 晃(M2) 文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事) 経 Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師) 人 活動報告 上ヶ原ハピタット 教 田 淵 結(宗教主事) 理 「アメージング・グレース」松 木 真 一(宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランパス記念礼拝堂(上ヶ原)
10月22日(金) 理工学部のために 今 岡 進

「共教育学部」の一員として

藤 木 大 三

西宮聖和キャンパスに流れる風は、上ヶ原キャンパスや三田キャンパスに流れる風とは少し違う。そしてそれは、いつも穏やかで頬に心地良い「優しい風」、と感じているのは、私だけだろうか？

教育学部が、関西学院大学10番目の学部としての歩みをスタートさせて、2年が経とうとしているが、周知の通りキャンパスには、教育学部、既存の聖和大学、そして聖和短大と、二大学一短大の学生たちが混在している。

私はこの混在状態を、今ここでしか味わえない「共存期間」として、学生たちには大切にして欲しい、と常々思っているのだが、こちらの予想以上に、彼らは教育学部生、聖和大生の枠を越えて、さまざまな場面で良き交わりをしているようである。それは、下級生（教育学部生）の多くが、上級生（聖和大生）を、親しみを込めて「先輩」と呼んでいる姿からも、垣間見ることが出来る。

この「共存期間」は、現在の聖和大学3年生が、2012年3月に卒業するまでの限りある期間であるが故に、私は、今のうちに11の学部を持つ総合大学の一つ、らしからぬユニークで暖かみのある学部としての礎を築いていくべき、と思っている。

一つの例を挙げよう。教育学部では、1年生から現場体験をする「体験学習I」という実習授業がある。9月上旬、未だ他学部生たちが夏休みを謳歌している頃、1年生は5日間の現場実習に出かけて行く。そして我々教員も、同じ期間に学生たちが実習でお世話になっている幼稚園、保育所、或は小学校を、一人平均5?7カ所お礼行脚に回るのである。この、一見非効率的で「過保護」と揶揄されかねない視察訪問は、「共存」する聖和大学からの伝統、そしてこだわりとも言える。私は、こうした事例こそが、総合大学の一学部らしからぬ「きめ細やかさ」や「暖かみ」を醸成し、やがては、他大学と一線を画す「関西学院大学教育学部らしさ」を創って行くように感じている。

「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ（マルコによる福音書2章22節）」の聖句どおり、キャンパスを見渡せば、感知式照明、各教室のAV機器の整備、ウォシュレット完備のトイレ（!）等、教育学部にも「新しい革袋（施設の充実）」が整えられつつある。しかし、そこに「新しいぶどう酒（学部独自の教育）」を注いで行く働きは、始まったばかりである。二大学一短大共存という、今だけの環境を大切にしながら、学生たちの声に耳を傾け、他の教職員らと額に汗しつつ、私も共に育って行きたい。このキャンパスに流れている、「優しい風」に心ませながら…。

（国際学部准教授・宣教師）

●2010年度大学主催秋季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む

1.日時：11月11日(木)11:10～12:40

場所：西宮上ヶ原キャンパスG号館301号教室

講師：生田武志氏(野宿者ネットワーク代表)

題目：「貧困を考えよう・こどもと野宿者の視点から」

2.日時：11月11日(木)15:10～16:40

場所：神戸三田キャンパスⅡ号館201号教室

講師：生田武志氏(野宿者ネットワーク代表)

題目：「貧困を考えよう・こどもと野宿者の視点から」

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●第185回ランバス演奏会のご案内

リコーダー・アンサンブル「レアール」コンサート

と き：11月11日(木)17:30開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

「レアール」は本学応援団総部吹奏楽部の卒業生が中心となって1997年に結成されたアンサンブルです。リコーダーだけでなくヴァイオリン、チェロ、フルート、オルガン、パンフルートなど多彩な編成で様々な時代、ジャンルの音楽に取り組んでいます。

●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月26日(火)

11月30日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)にて10:35～11:05

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

10月22日(金) アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

10月29日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日に教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いる形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

10月24日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。